

会議録要点記録

□全部記録 ■要点記録

1	会議名	姫路市子ども・子育て会議（令和4年度第2回）
2	開催日時	令和4年 8月 8日（月） 13時30分～14時15分
3	開催場所	姫路市総合福祉会館 5階 第1会議室
4	出席者	<p><委員> 姫路市子ども・子育て会議 委員17名</p> <p><事務局> こども未来局長、教育保育部長、こども育成部長、教育企画室長、幼保連携政策課長、こども保育課長、こども支援課長</p>
5	傍聴人数	1名
6	次第	<p>1 開会</p> <p>2 新委員の紹介</p> <p>3 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 教育・保育の提供体制の見込み量の見直しについて</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 地域子ども・子育て支援事業の見直しについて</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 市立幼稚園における3歳児保育の実施について</p> <p>4 閉会</p>
7	配布資料	<p><事前配布> 会議次第</p> <p>姫路市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>資料1：教育・保育提供体制の見込み量の見直しについて</p> <p>資料1-2：推計児童数の増減状況</p> <p>資料1-3：支給認定割合の推移と今後の見込み</p> <p>資料1-4：見直し後の教育・保育の提供体制の量の見込み</p> <p>資料2：地域子ども・子育て支援事業の見直しについて</p> <p>資料3：市立幼稚園における3歳児保育の実施について</p>
8	会議の要点内容	以下のとおり
事務局	1	開会（13:30）
事務局	2	新委員の紹介
事務局	3	<p>議題</p> <p>(1) 教育・保育の提供体制の見込み量の見直しについて</p> <p>【資料1：教育・保育提供体制の見込み量の見直しについて】</p> <p>【資料1-2：推計児童数の増減状況】</p>

	<p>【資料1-3：支給認定割合の推移と今後の見込み】</p> <p>【資料1-4：見直し後の教育・保育の提供体制の量の見込み】説明</p>
会長	事務局から説明があったが、質問はあるか。
会長	国の定めた方法で見込みを計算しているので、間違いないかと思う。
事務局	<p>(2) 地域子ども・子育て支援事業の見直しについて</p> <p>【資料2：地域子ども・子育て支援事業の見直しについて】説明</p>
会長	事務局の説明について、質問はあるか。
会長	下方と上方それぞれに修正があるが、その理由についての考えを聞きたい。 特に気になったのは子育て短期支援事業で、かなり数値が下方修正されている。
事務局	子育て短期支援事業については、第2期計画を作成する際にアンケートによるニーズ調査を行っている。そこから算出した見込み数が高すぎる数値になっており、利用実績と見込みとに乖離があったことが大きな理由である。
会長	<p>必要かどうか質問すると、行政サイドへのニーズを表明される人が多いが、実際に実施してみるとそれほど利用がなかったということであると。</p> <p>一方、養育支援訪問事業の上方修正については、その理由はおおよそ推測できる。家庭での子育てに様々な問題を抱え、養育支援を必要とする保護者が増えてきているということだろう。</p>
会長	ひとつ気になったのが、コロナウイルス感染症の影響をどう考えるかということ。これから先も同じように減少していくものと、またもとに戻るのではないと思われるものがある。項目によって違うかもしれないが、見直しにあたっての考え方はどのようなものか。
事務局	コロナウイルス感染症の影響であるのか、少子化の影響であるのかははっきりしないため、今回の見直しにあたってはここ数年間の実績値により見直しを考えている。
会長	現実問題としてはもとに戻る可能性もあり、当初の計画のほうがよかったということになるかもしれないが、現在の数値から将来の予測をするしか方法がないため、そのように見直しを行ったということを理解してほしい。
事務局	<p>(3) 市立幼稚園における3歳児保育の実施について</p> <p>【資料3：市立幼稚園における3歳児保育の実施について】説明</p>

会長	意見、質問はあるか。
委員	2園で実施するということで、人材確保などは私立施設にも関連するところである。3歳児保育の導入による人材確保についてはどのように考えているのか。
事務局	姫路市就学前教育・保育施設の在り方方針に基づき、今後公立の保育所あるいは幼稚園を統合・閉園していく中で人材を確保したいと考えている。ただ、臨時職員や補助職員の募集は行う。
委員	定員は、以前から示されているように20名程度と考えているのか。
事務局	今回実施する2園は、どちらも20名で考えている。
委員	3歳児保育について、姫路市ではこれまで試験的に何園か実施していると思う。さらに新たに2園ということになると、公立幼稚園に人材を確保されると苦しいが、実施するからには臨時でまかなうのではなく、正職員が担任するなど、しっかりとした3歳児保育を実施してほしいと思う。
会長	定員が20名ずつというわずかな数ではあるが、職員の確保の問題は、市全体、ひいては西播地区全体の大変大きな問題である。他の園に迷惑がかからないように考えながら、今いる職員をうまく配置換えできればいいが。3歳児は4・5歳児とはまた違った、低年齢児の保育ができる力を持った保育士が必要であり、誰でもいいというわけにはいかないと考える。適材適所の考えで、さらに異動の中でなんとか確保できるのが一番良い。
委員	実施園について、提供体制の不足が20人以上見込まれる区域の中でよりニーズが高いという文面があるが、今回実施する2園というのはいくらかあるうちの2園なのか。
事務局	7区域の中で、今回東部と南西部で実施するが、中部と中部南についても入園できていない3歳児がいる。アンケートを実施したところ、校区ごとにかなりばらつきがあり、ニーズが特に多い東部と南西部の中でも、糸引校区、大津校区で入園できていない児童が多い。また、園舎の状況として、ある程度新しい園舎、教室が確保できる園舎であることなどを総合してこの2園としている。
委員	漏れているということではなく、総合的に判断してこの2園に決定しているということだが、3番手、4番手の実施ができていないということではないのか。
事務局	アンケートによると他の校区にも入園できていない児童がいるが、今回示した校区が特に多いこともあり、この2園で実施するということである。

会長	特にニーズが多い校区ということで、20名の定員でも抽選になり、実施後もまだ入れない児童がいる可能性が高い。その場合、他の校区に行くこともできるということでよいか。
事務局	そのとおりである。 (終了)